

Q 1	WebNACCSとは、どのような仕組みか。	WebNACCSは、NACCSパッケージソフトをインストールすることなく、Webブラウザを利用してNACCS業務が可能な方式です。旧港湾EDIに類似した仕組みとして開発しました。										
Q 2	WebNACCSは、netNACCSと何が異なるのか。	<p>WebNACCSは、netNACCSのようにパッケージソフトをインストールすることなく、Webブラウザで業務が可能な方式です。それぞれのメリット等を下記にまとめておりますので参照ください。</p> <table border="1" data-bbox="894 395 2108 861"> <thead> <tr> <th data-bbox="894 395 1069 463"></th> <th data-bbox="1069 395 1601 463">netNACCS</th> <th data-bbox="1601 395 2108 463">WebNACCS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="894 463 1069 710">メリット</td> <td data-bbox="1069 463 1601 710"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールのように帳票受信、出力ができる。</li> <li>・自動保存、自動印刷機能がある。</li> <li>・乗組員、旅客情報をExcelからグリッド画面に貼り付けができる。</li> <li>・一画面で複数の申請画面の入力内容が確認できる。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1601 463 2108 710"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にパッケージソフトをインストールすることなく、Webブラウザで業務ができる。</li> <li>・コード検索、入力項目表閲覧等の便利機能がある。</li> <li>・CSVファイルで乗組員、旅客情報のアップロードができる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="894 710 1069 861">デメリット</td> <td data-bbox="1069 710 1601 861"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にパッケージソフトをインストールする必要がある。</li> <li>・コードや入力項目表等はNACCS掲示板から探す必要がある。</li> </ul> </td> <td data-bbox="1601 710 2108 861"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webで自動保存、自動印刷機能が技術的に困難である。</li> <li>・Webでグリッド画面は技術的に困難である。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>			netNACCS	WebNACCS	メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールのように帳票受信、出力ができる。</li> <li>・自動保存、自動印刷機能がある。</li> <li>・乗組員、旅客情報をExcelからグリッド画面に貼り付けができる。</li> <li>・一画面で複数の申請画面の入力内容が確認できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にパッケージソフトをインストールすることなく、Webブラウザで業務ができる。</li> <li>・コード検索、入力項目表閲覧等の便利機能がある。</li> <li>・CSVファイルで乗組員、旅客情報のアップロードができる。</li> </ul>	デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にパッケージソフトをインストールする必要がある。</li> <li>・コードや入力項目表等はNACCS掲示板から探す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webで自動保存、自動印刷機能が技術的に困難である。</li> <li>・Webでグリッド画面は技術的に困難である。</li> </ul>
	netNACCS	WebNACCS										
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールのように帳票受信、出力ができる。</li> <li>・自動保存、自動印刷機能がある。</li> <li>・乗組員、旅客情報をExcelからグリッド画面に貼り付けができる。</li> <li>・一画面で複数の申請画面の入力内容が確認できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にパッケージソフトをインストールすることなく、Webブラウザで業務ができる。</li> <li>・コード検索、入力項目表閲覧等の便利機能がある。</li> <li>・CSVファイルで乗組員、旅客情報のアップロードができる。</li> </ul>										
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時にパッケージソフトをインストールする必要がある。</li> <li>・コードや入力項目表等はNACCS掲示板から探す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webで自動保存、自動印刷機能が技術的に困難である。</li> <li>・Webでグリッド画面は技術的に困難である。</li> </ul>										
Q 3	WebNACCSの利用には、別途手続きが必要か。	すでにnetNACCSをお持ちであれば、特段の利用契約変更手続きを行う必要はありません。しかし、netNACCS以外の処理方式、例えばNACCS専用回線でインタラクティブ処理方式をご利用の方は、netNACCSの申し込みが必要です。										
Q 4	WebNACCSの利用者IDとパスワードは、netNACCSとは別になるのか。	netNACCSと同じ利用者IDとパスワードで、WebNACCSを利用することが可能です。しかし、Q 3にあるように、NACCS専用回線を利用するインタラクティブ処理方式の利用者ID・パスワードでWebNACCSを利用できませんので、別途netNACCSの申し込みが必要です。										

Q5	WebNACCSはnetNACCSと同様に、デジタル証明書の取得は必須か。	次期（第6次）NACCSにおいても、セキュリティの観点から、引き続きインターネット回線を利用するnetNACCSおよびWebNACCSには、利用するユーザーまたは端末ごとに、デジタル証明書の取得を必須とさせていただきます。
Q6	WebNACCSは、事業所以外（屋外等）での利用は可能か。	netNACCSと同様に、仕組み上できなくはありませんが、利用者IDとパスワードを外部に持ち出すこととなりますので、セキュリティ上推奨できる利用方法ではありません。システム利用規程第37条には漏洩を防ぐための適切な管理を行う旨を規定しております。万が一、紛失等の事故が発生した場合には、NACCSセンターでは一切の責任を負いかねますので、ご承知願います。
Q7	WebNACCSは、タブレット端末（スマホ等）での利用は可能か。	次期（第6次）NACCS基本仕様書では、WebNACCSのスマートフォン、タブレット等の携帯端末での利用を視野に入れて策定しましたが、その後の検討の結果、セキュリティ確保に必要なデジタル証明書を携帯端末で利用する仕組みが無いことやその費用対効果を踏まえ、本更改時は導入を見送ることとなりました。今後の導入可否については、WebNACCSの利用状況、費用対効果およびセキュリティ面を十分踏まえ、将来的な検討課題とさせていただきます。
Q8	WebNACCSの利用には、料金が掛かるのか。	WebNACCSの利用に料金は掛かりません。また現行同様、海上入出港業務の利用料金は、無料とさせていただきます。
Q9	今までの外部ファイル（送信した電文）を利用することは可能か。	次期（第6次）NACCSで、仕様変更に伴う入力項目の追加や削除が行われますので、現行で外部に保存したファイルを、次期で利用することはできません。7月から9月の総合運転試験時に一連の手続きを行い、必要に応じて次期入出港向けに作成してください。また、netNACCSとWebNACCSとでは、外部ファイルの形式が異なります（netはテキスト形式、WebはCSV形式）ので、例えばnetNACCSで作成した外部ファイルを、WebNACCSで利用することはできません。逆も同様になります。

Q10	パッケージソフトで行った業務を、WebNACCSで呼出しや照会をすることは可能か。	可能です。例えば、パッケージソフトで入港届を行った後、WebNACCSでその入港届の情報を呼び出して出港届を行うことが可能です。逆も同様になります。ただし、帳票電文の出力は、その業務を行ったパッケージソフトまたはWebNACCSからでしか出力できません。上記の例では、入港届控はパッケージソフトから、出港許可書はWebNACCSからの出力になります。
Q11	なぜ、WPC（とん税等納付申告）業務は、リアルタイム口座のみ納付が可能なのか。	WebNACCSにおける直納、MPN（マルチペイメントネットワーク）での納付書および納付番号通知情報の出力について、納付書のOCRフォントの出力が困難であること、また納付済みの際には出力しないというような制御を設けることは技術的にできないため、二重納付の可能性のあることから、税関との検討による結果、リアルタイム口座のみとの結論に至りました。直納またはMPNでの納付の場合には、パッケージソフトのTPC業務を利用ください。
Q12	パッケージソフトのように乗組員・旅客情報をExcelから貼り付けをすることはできないのか。	WebNACCSでは、パッケージソフトのようなグリット機能は技術的な観点により提供ができません。グリット機能の代わりにExcelファイルからCSVファイルを作成するツールと、そのCSVファイルをWebNACCSにアップロードする機能を提供いたします。また、WebNACCSにアップロードし申請で使用した後に、WVSの画面上で確認いただける件数は、システム仕様上、乗組員30名、旅客20名までとなります。よって、それ以上の内容を確認する際にはCSVファイルを参照いただくこととなります。
Q13	WVS（書類状態確認）業務で、申請毎の状況を確認することは可能か。	次期（第6次）NACCSにおいて、複数の照会業務をWVS業務（IVS業務）に統合します。具体的には、JSS業務とCRW01・02・03業務を廃止し、WVS業務（IVS業務）に統合します。ただし、照会できる内容に変更はありません。よって、申請毎の回答年月日や許可・承認年月日等の状況といった現行には無い新たな内容を照会することはできません。従前どおり、申請先官署に状況を確認してください。なお、WVSの回答履歴で照会する機能はございます。

Q14	更改後にプログラム変更要望をすることは可能か。	10月の次期（第6次）更改直後は、システムバグ等の緊急のものを除き、要望をいただいても検討・対応することはできません。また、海上入出港業務の場合、無料での提供のため、関係省庁の予算に応じて検討・対応することになりますので長期間、実施までに時間を要します。今回のWebNACCSによる海上入出港業務の開発については関係省庁および関係団体（船舶代理店協会等）の意見を反映しております。まずは利用いただき、そのうえで要望がありましたら関係団体内で必要性の検討・取り纏めのうえ、提出をお願いいたします。
Q15	WAS業務で入国管理局の宛先設定ができない。	第6次NACCSから入国管理局の宛先は、先頭2桁に「KW」を追加して入力していただきますようお願いいたします。詳細は、業務コード集に掲載しております入国管理局の申請先官署コードを参照ください。
Q16	トップページにある錨地指定一覧を押下すると、システムエラーとなることがある。	錨地指定一覧のリンク先は錨地Webとなっており、錨地Web側で1時間を超えるとタイムアウトとなりエラーが発生いたします。WebNACCS側で1時間を超えて申請を実施する場合は、予め錨地指定一覧のURLをお気に入り登録等行っていただきますようお願いいたします。

Q17 WebNACCSを利用する際のブラウザ設定は必要か。  
 ブラウザの表示内容の基本事項は以下の通りです。

項番	項目	前提条
1	縦スクロール	許容する
2	横スクロール	許容する
3	タイトルバー	“WebNACCS”を表示する
4	ステータスバー	表示する
5	ロケーションバー (URLの入力、表示)	表示する
6	メニューバー	表示する
7	文字サイズ	中 (標準)
8	フォント	デフォルト
9	エンコード	UTF-8
10	拡大縮小	100%
11	JavaScript	有効にする
12	Cookie	有効にする

Q18 WPT等の申請業務画面で宛先が空欄になっている。  
 WebNACCS初回ログイン時は宛先が設定されておりませんので、WAS業務で必要な申請先を追加してから申請をお願いいたします。

Q19 乗組員・旅客・危険物データの画面上での直接入力 は最大何件まで可能か。  
 乗組員：30件、旅客：20件、危険物：20件となります。

Q20	WVS業務の処理状態において、帳票を確認できる申請と確認できない申請がある。	WVS業務で確認できる帳票はWebNACCSで送信された申請のみとなります。パッケージソフトで送信された申請についてはパッケージソフトにて帳票をご確認ください。
Q21	入国管理局向けのCRW03（乗員上陸許可申請）業務は第6次NACCSにて提供はないのですか。第6次NACCSパッケージソフトには業務メニューの中にはありません。	第6次NACCSでは、CRW03（乗員上陸許可申請）業務を、入港前統一申請の対象とする見直しを図りました。第5次NACCSにて提供していましたCRW03業務は第6次NACCSではパッケージソフトはVPX（入港前統一申請）業務、WebNACCSにおいては外航業務のWPT（入港前統一申請）業務で実施ください。なお、近傍上陸、数次上陸、乗換上陸は上陸目的識別で個々に送信可能です。
Q22	WebNACCSにて電文の確認はどのように行うのでしょうか。	WebNACCSはその名の通りWebブラウザ上での動作となりますので、サーバ上にある情報を見ることとなります。送受信内容を特定のフォルダ等への自動保存は行えません。また、自動印刷機能もございません。過去に送受信したのを見れば、WVS(書類状態確認)業務にて、そのデータを検索するということとなります。また、回答通知等の帳票を再度PDF形式で確認するためのWNC(帳票確認)という業務もございます。こちらの保存期間は7日間です。
Q23	WebNACCSにて、MFR(積荷目録情報登録)業務やHYS（汎用申請）業務は可能ですか。	MFR(積荷目録情報登録)業務は、WebNACCSでの提供はありませんので、パッケージソフトにて業務を行ってください。HYS（汎用申請）業務は、2020年3月以降、WebNACCSにて実施可能です。

Q24	WebNACCSのWPT(入港前統一申請 (内航))業務にて宛先が設定なしになっており、選択のしようがないのですが、どうすればよいのでしょうか。	WAS (宛先設定) 業務にて、申請前に提出先を登録する必要があります。「書類提出先」の事前登録を行うことができます。以下、ご参考ください。利用マニュアル 2.11.5 宛先設定 (WAS) WebNACCS (海上入出港) 業務資料等   3 WebNACCS (海上入出港) 入力例【動画】   書類状態確認 (WVS)
Q25	WPT(入港前統一申請 (内航))業務にて、「船舶呼出」ボタン押下時に誤った船舶コードが補完された場合、手入力で送信可能でしょうか。その際、WBX業務にて登録された船舶基本情報のデータは更新されないとの認識でよいのでしょうか。	送信可能です。また、船舶基本情報のデータは更新されません。